

教科目名 米文学特論Ⅱ (American Literature Ⅱ)

学科名・学年 : 全専攻1年

単位数など : 選択 2単位 (後期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 大木正明

授業の概要				
米文学特論Ⅰに引き続き、1人の国際人として、かつ1人の人間として、個人のあり方を改めて深く探るための講義である。米文学特論Ⅱについては、半期という短い期間ではあるが、聖書を源流とするアメリカの文学を4人の代表的な作家に絞りアメリカ文学の基本的な概要を知ると共に、米文学特論Ⅰと同様、集団と個人といった視点を軸に、それぞれの作品の中で取り上げることの出来る問題を論じていく。英語の勉強は勿論のこと、人間の存在のあり方そのものを、アメリカの文学者、作品、そして文学に関する資料をとおして見つめなおす。				
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)		
(1) これまでに学んだ英語の4技能を駆使し、社会に通用する言語能力を育成する。(レポート) (2) 各講義で取りあげられるテーマについて知見を深め、人間存在の深さを理解する。(レポート) (3) 西欧文化の源流を知り、日本独特の文化を意識すると同時に、国際的な視野を持つ。(レポート) (4) 各回ごとの講義の理解はもちろんのこと、継続的な自学学習の大切さを知る。(レポート)				
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検	
1	1. 宗教	○宗教への一般的かつ客観的理解を持つことが出来る。	【理解の度合い】	
2	2. 旧約聖書	○旧約聖書の概略的な理解が出来る。	【理解の度合い】	
3	3. 新約聖書	○新約聖書の概略的な理解が出来る。	【理解の度合い】	
4	4. ナサニエル・ホーソーン	○アメリカ作家 N. ホーソーンとその代表作『緋文字』について理解が出来る。	【理解の度合い】	
5				
6				
7	5. ハーマン・メルヴィル	○アメリカの作家 H. メルヴィルとその代表作『白鯨』について理解が出来る。	【理解の度合い】	
8				
9				
10	6. アーネスト・ヘミングウェイ	○アメリカの作家 E. ヘミングウェイとその代表作『老人と海』について理解が出来る。	【理解の度合い】	
11				
12				
13	7. F. S. フィッツジェラルド	○アメリカの作家 F. S. フィッツジェラルドとその代表作『偉大なるギャツビー』について理解が出来る。	【理解の度合い】	
14				
15				
履修上の注意		レポートの提出は1回だけである。期限は厳守すること。	【総合達成度】	
教 科 書		Peter B. High, <i>An Outline of American Literature</i> , Longman. 赤尾文夫, <i>TOEIC TEST Mastery 2000</i> , 旺文社		
参 考 図 書				
関 連 科 目		米文学特論Ⅰ, 哲学特論Ⅰ		
総 合 評 価		達成目標の(1)～(4)について、1回のレポートで評価する。 レポートの評価(100%)により評価する。また、授業態度により評価点からその20%を上限として減点し、これを総合評価とする。総合評価が60点以上を合格とする。		
			【総合評価】	点